

No. 1 0

平成27年2月1日

志木市立宗岡第二小学校

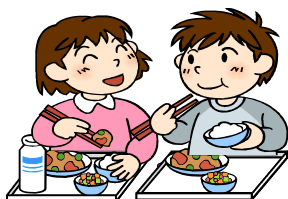
電話：048-473-2305

宗二小だより

<学校教育目標>

- よく考える子
- やさしい子
- たくましい子

給食を食べながら想う



宗岡第二小学校長 伊東孝泰

子どもたちが毎日楽しみにしているように、私も給食を食べられるありがたさと喜びを感じながらいただいています。手前味噌ながら、本校の給食はとてもおいしく、これも給食づくりに携わる栄養士さんや調理士さんたちのおかげと感謝しています。

私の父親は、食べ方にうるさい人で、子どもの頃は何度叱られたかわかりません。大正生まれの父は、戦争中の生活を知っていることから、食事については厳しかったのかもしれませんが、「出されたものは全部食べろ。どうしても食べられないものは、最初から手を付けるな。」という主義でした。三つ子の魂百までのことわざ通り、そのようにしつけられた私は、出された食事は必ず平らげており、食べ残すことに一種の罪悪感のようなものがありました。ですから、今の子どもや若い人たちが平気で食べ物を残すのを見ると、ちょっと違和感を感じるのです。育った時代や環境が異なるので、食べることに対する感覚の違いが世代ごとであり、その開きはこれからますます大きくなっていくのでしょうか、思いは複雑です。

本校には、学校菜園があります。菜園では、栽培委員会や各学年の子どもたちの手により様々な野菜が育てられています。野菜作りが得意の用務員さんのバックアップもあり、いつも見事な野菜が実るのです。収穫されたものの多くは給食に出され、地産地消ならぬ学産学消を行っています。ある学年でピーマンを植え、育て、収穫したものを給食用に提供したところ、その学年の子どもが、用務員さんに「ピーマンきらいだったけれど、自分が育てたものだから食べた。」と話したそうです。なるほどと思いました。ピーマンがきらいで残す子は多いです。でも、その子は、ピーマンの育生に深く関わっていたから、食べることができたのです。「いただきます」とは、～の命を私の命にさせていただきます、を由来とするそうです。食べ物を育て、命を与えた子どもたちだからこそ、本当の意味でいただきます、という気持ちで食したのでしょう。

このことは教訓的です。人は、自分が関わっていなかったり、お仕着せのものであったり、受け身的な立場であったりする場合は、当事者意識を持たず、無責任な言動や自分の好みだけで意思決定をしてしまいます。でも、関わりを持つことで、そのものをないがしろにできなくなる、これは、自己と他者の関係性の問題でもあります。だからこそ何事にも主体的に関わり、成就感を持つ体験が大切なのです。時間や手間は多少かかるかもしれませんが、子どもたちには体験を通して、確かな「知」を獲得してほしいと思います。

このように考えたとき、20年も前に、まだ食育という言葉も一般化していない時代に、地元根ざした体験活動の大切さを認識し、本校独自の「親子ふれあい田んぼ」を立ち上げ、全面的に支援、協力してくださった当時のPTAや地域の方々の慧眼に改めて感心するのです。などと、いろいろな思いを持ちながら、みんな今日も給食を残さず食べようね、と念じ、本日の献立を楽しみにしている私です。

2月の行事予定

日	曜	事	な	ど	日	曜	行	事	な	ど																										
1	日				16	月	通	学	班	長	会	議	②	校	内	研	修																			
2	月	職	員	会	議	17	火	音	楽	朝	会	6	年	ヘ	ッ	メ	ッ	シ	書	6	年	琴	鑑	賞												
3	火	全	校	朝	会	18	水																													
4	水					19	木	ク	ラ	ブ	見	学	予	備	日																					
5	木	学	校	保	健	委	員	会	15:00~	委	員	会	20	金	6	年	小	中	交	流	会															
6	金	交	歓	球	技	大	会	(宗二小)	学	校	開	放	委	員	会	21	土	市	内	な	わ	と	び	大	会	9:00										
7	土					22	日																													
8	日					23	月	職	員	会	議																									
9	月	通	学	班	長	会	議	①	校	内	研	修	24	火	授	業	参	観	・	懇	談	会	1・2	年	ポ	プ	ラ									
10	火	児	童	集	会	幼	小	交	流	会	ク	ラ	ブ	発	表	25	水	授	業	参	観	・	懇	談	会	5・6	年									
11	水	建	国	記	念	の	日																													
12	木	5	年	学	習	「	人	の	誕	生	」	ク	ラ	ブ	見	学	26	木	授	業	参	観	・	懇	談	会	3・4	年	6	年	サ	ッ	カ	ー	教	室
13	金	市	内	交	歓	球	技	大	会	予	備	日	27	金	P	T	A	常	任	委	員	会	13:30~													
14	土																																			
15	日																																			
											授業日数19日																									

2月の生活目標

「寒さに負けず元気に遊びましょう。」

昨年度までの2月の目標は、「進んで体をきたえましょう。」でした。今年度から、子どもたちにも理解しやすく取り組みやすい言葉にすることで、しっかりとこの寒さから身を守り元気に過ごしてもらうために文言がかわりました。立春を迎えるとは言え、冷え込みも厳しくたいへん乾燥しています。インフルエンザ、ノロウイルス等感染性の病気の流行の兆しもあります。予防をして免疫力のある体をつくっておけば大丈夫！寒さに負けず、自分の体力に合ったためあてを見つけ目標に向かって元気に過ごしてほしいものです。健康には運動と栄養と休養が必要です。早寝・早起き・朝ご飯・朝トイレで寒さを乗り切りましょう！

～志木市民なわとび大会～

2月21日(土) 志木市民体育館

受付 9:00～9:30

開会式 9:30～9:50

競技 10:00～

個人競技や親子ふたりとび、団体などいろいろな種目があります。一人2種目まで(団体除く)参加できます。低学年は、親子ふたりとびに挑戦してみたいかがですか？昨年度は、意欲満々に個人・団体にと練習を頑張っていたにもかかわらず、雪で残念なことに中止となってしまいました。是非、その分も今年は頑張りたいです。当日受付もしていますが、学校の締め切りは5日です。

～藁草履作り～

宗岡第二農業学校と称されるくらい「お米」を中心に様々な農業体験ができるのが、本校の特色です。今年度の集大成となる大きなイベントの一つである「藁草履作り」が1月16日に体育館で授業参観を兼ねて行われました。

当日をむかえるにあたり、指導者となってくださる方たちとの数度にわたる打ち合わせ、藁すき、藁打、試作(保護者)など皆様のお力添えを頂き入念な準備をしておからの実施でした。

今年もご多用の中、小池竹蔵さん、志村春雄さん、市之瀬滋さんのご指導のもと、PTAの方たちの支援を受け、保護者とともに5年生はすばらしい経験ができました。どうもありがとうございました。



【体育館での藁すき】



【はじめの会 指導者と】



【保護者と藁草履づくり】

今年の収穫高

うるち米 427.3 kg

もち米 248.2 kg

合計 675.5 kg

運動会では、今年も販売し、すぐに完売となりました。

＜うがい・手洗い・マスクで感染症の予防をしましょう。＞

本校でも、1月に2年生が学年閉鎖を実施したくらい、インフルエンザ等が流行り始めています。休養・栄養もさることながら、うがい、手洗い、マスク使用も感染要望には侮れません。「うつらない」「うつさない」ために予防に配慮するよう、よろしくお願いいたします。